

~TANKYU~

谷地南部小学校

校内研究だより

2024. 1. 10

No.44 文責 荒木秀

夢みる小学校

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。新年一発目は、映画の告知です（以前もお伝えしたような気が…忘れちゃいました）。紹介するのは、『夢みる小学校 自分のままでいいんだよ』（オオタ ヴィン監督）です。

オオタ ヴィン監督の主な作品は以下の通りです。

- 『いただきます1 みそをつくるこどもたち』2017
- 『GIFT その後ののはなちゃんのみそ汁』2017
- 『いただきます2 ここは、発酵の楽園』2019
- 『夢みる小学校 自分のままでいいんだよ』2021
- 『夢みる校長先生 子どもファーストな公立学校の作り方』2023
- 『夢みる給食 広がれ！オーガニック』2024 公開予定



まほろば studio HP

ご覧の通り、学校をあつかったドキュメント映画をたくさん撮られています。『夢みる小学校』については、山形新聞の社説「気炎」（2022.5.3）で取り上げられていましたので、そちらを載せます。

私は昨年見たのですが、かなり刺激を受けました。修学旅行の行き先を自分たちで決めさせるというアイデアもここからいただきました。

1月21日（日）に、朝日町で上映会があります。興味のある方はぜひ。裏面にチラシを載せておきます。職員室黒板にも貼ってあります。

「校則がない学校」がしばしば話題になるけれど、この学校には5教科の時間割もなければ先生もいない。もちろんテストもない。あるのは、興味関心を追求できる自由な時間と空間だけ。

こんな信じられないような学校が、山梨県南アルプス村に実際に存在する。私立「南アルプス子ども村小学校」だ。

ドキュメンタリー映画「夢みる小学校」では、その摩訶不思議な学校の様子が、子どもたち、そして大人たちの生き生きとした笑顔とともに映し出される。

もちろん、自由とはいえ何もしなくてよいわけではない。自分たちでさまざまな課題を見つけ、問いを立て、失敗しながらも解決を目指すプロセスは存在する。まわりに大人たちもいるが、あくまで伴走する仲間であって、何かを教える「先生」ではない。

例えば、修学旅行の行き先から、費用の計算、ホテルの予約、スケ

気炎

驚きの小学校

ジュールの管理まで、すべて子どもたちが話し合いをして決めて実行する。もちろん失敗もするが、大人は口出ししない。自分たちで考えて、またやり直す。

最近流行りの探求型・課題解決型学習を徹底するところとなる、といった感じではあるが、実際に現行制度の下でも「ここまでできるのか」といった驚きがそこかしこにあふれる。

基礎的学力や基礎教養の部分で不足が生じそうなものだが、卒業後の平均成績も悪くないという。学校に行くのが楽しいから、いじめや不登校もほとんどないという。そうであるならば、不登校が年々増え、教員も疲弊し、学級崩壊が頻繁に起こる、ほかの一般的な「学校」の存在価値とは何か、と思う。

誰のための、何のための学校なのか。そんな根本的な問いを投げかけられる映画であった。

（遠部 梁村）

2022年5月3日

裏面に続く

おとなも子どもも、
こんな学校に
行きたかった！



監督：オオタ ウィン
「いただきます」シリーズ

ナレーション
吉岡秀隆
エンディングテーマ
ザ・ブルーハーツ

夢みる小学校

「自分のままでいいんだよ」

ありのままの自分でいられる、子どもファーストな学校とは？
わくわくがとまらない 希望あふれる“ミライの教育ドキュメンタリー”
出演：堀 真一郎、茂木 健一郎、尾木 直樹、辻 信一、高橋 源一郎ほか
文部科学省選定

2024年1月21日(日) 映画上映会
会場：朝日町エコミュージアムコアセンター 創遊館ホール



「学校」はこんなに楽しい場所でした。

激動のAI時代に対応するため、2020年度から学習指導要領が、「アクティブラーニング(探究学習)」に大きく舵を切り、日本の公教育が揺れています。30年前から「体験学習」を実践している先進的な学校があります。宿題がない、テストがない、「先生」がない、「きのくに子どもの村学園」です。この学校のスローガンは、「まず子どもをしあわせにしよう。すべてはそのあとに続く。60年以上成績通知表がない「総合学習」を続ける伊那市立伊那小学校。校則ゼロ、定期テストをやめた、世田谷区立桜丘中学校の西郷孝彦前校長。本作には、子どもファーストな3つの学校が登場します。

ナレーションは、ドラマ「北の国から」の名優 吉岡秀隆。エンディングテーマは、ザ・ブルーハーツの「夢」。全国1000箇所で上映された映画「いただきます」オオタウィン監督が「教育」をテーマにエモーショナルな映像で描きます。わくわくするシーンの連続、直心に帰ったような初々しい感動。「ミライの教育」を探る 感涙のドキュメンタリーです。

予告編見てね！



映画出演者コメント

子どもも楽しい、教師も楽しい。体験学習を楽しみながら「考えるチカラ」が身につくのです。

体験学習は、創造性を発達させ、非認知能力を高め、しなやかな脳のネットワークを作ります。

この映画は、「教育の本質」をみせてくれます。「子どもファーストの学校」の姿を、みてください。

意味のない校則は子どもの考える力を奪うのでなくしました。公立学校も、変は、かなりの自由なんだよね。

エンディングテーマザ・ブルーハーツ



あなたの町でも「夢みる小学校」を上映しませんか？お申し込みは、まほろばスタジオ



堀 真一郎 (きのくに子どもの村学園学長)



茂木 健一郎 (国科学者)



尾木 直樹 (教育評論家)



西郷 孝彦 (世田谷区立桜丘中学校 元校長)

2024年1月21日(日)「夢みる小学校」上映会

★会場：朝日町エコミュージアムコアセンター 創遊館ホール (朝日町宮宿 2265) ★入場料金：大人前売り 1,000円 (当日 1,200円) ※高校生以下無料
★時間：午前の部 10:00～(開場 9:30) ★申し込み/お問合せ：
～ちよつとにきやかな会～乳幼児連れOK ・WEB (申し込みフォーム) QRコード
午後の部 13:30～(開場 13:00) ・メール yukari.en.asahi@gmail.com
上映後、感想シェア会あり (「夢みる小学校」朝日町上映実行委員会まで)
※託児あり(有料) 500円/人 町内販売先：近江屋、松谷屋菓子店、西松屋菓子店

主催：「夢みる小学校」朝日町上映実行委員会 後援：朝日町教育委員会
本上映は「朝日町協働のまちづくり人材育成支援事業補助金」の支援を受けています